

平成23年度建設部農政課執行目標中期進捗表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	進捗 状況	達成済の結果	年度内の達成に向けた計画
1	<p>農業経営の安定対策（市独自のブランド農産物の確立）</p> <p>今年度より、やましろ野菜産地担い手養成塾事業（京都府府事業）を活用し、木津ナス養成塾を開講している。</p> <p>平成21年度より京田辺市で当該事業を活用し成功を収めている田辺ナス養成塾をモデルとしている。</p> <p>今年度の受講生は5名であり、1年間の研修（実地研修・学習会）を通して、木津ナス農家としての技能・知識を習得してもらう。</p> <p>講師 京都やましろ農協木津支店茄子グループ 受講生 20歳代 1名 30歳代 3名 50歳代 1名</p>	<p>木津ナスは卸売市場で付加価値の高い農産物として注目されている。</p> <p>しかしながら、生産農家が高齢化となり、若い担い手農家に技能・知識を伝承する必要があることから、当養成塾を通して担い手農家を育成し、今後の栽培規模拡大を目指していく。</p>	○	<p>平成23年受講生</p> <p>20歳代 1名 30歳代 3名 50歳代 1名</p> <p>具体的な技術も習得したことから、平成24年度の本格出荷に向けて取り組んでいる。</p>	<p>平成24年受講生を募集し、継続して木津ナス農家の養成を図る。</p> <p>・受講期間 平成24年1月中旬～12月上旬</p> <p>・定員 5名程度</p>
2	<p>かんがい排水事業の推進（木津Ⅱ地区）</p> <p>今年度は、平成20年度から平成24年度完了予定として継続実施している木津かんがい排水事業の4年目となります。</p> <p>本事業にて、木津川の用水を各ため池に供給することにより、農業用水の安定的な確保を図るとともに、水管理システムの導入により水管理の省力化と合理化を図ります。</p>	<p>現在未取得のままとなっている約200㎡の事業予定用地の確保を目指すとともに、約1kmの管路布設工事を実施します。</p>	○	<p>相楽及び市坂地区においてトータル990m区間の工事発注を実施した。</p> <p>・相楽ルート 460m ・市坂ルート 530m</p>	<p>【事業予定用地の確保】</p> <p>年内に線下補償に係る地権者の同意を得て、早急に個別契約及び所有権移転を進める。</p>

3	<p>地産地消の推進（農産物直売所の整備） 木津川市には、山城のたけのこ、梅谷のだいこん、当尾のごぼうを始め、茶の栽培も盛んな地域でありながら、農作物を PR しながら、販売できる大規模な直売所がない現状であるため、直売所の整備を促進し、新たな顧客獲得に向けた販路の開拓を図る。</p>	<p>年度内を目標に地産地消並びに直売所推進検討委員会を立ち上げる。 農協内で新たな直売所の組織づくりを促進する。</p>	△	<p>旧山城町での直売所の整備に向け、J Aと協議中。 検討委員会については、立ち上げに至っていない。</p>	<p>J Aと直売所の推進に向け、協議を重ねているが、検討委員会の立ち上げには至っていない。年度内の設立に向け、関係機関と調整する。</p>
4	<p>有害鳥獣対策の取組 平成 22 年度において、策定した鳥獣被害防止計画をもとに被害状況の把握に努めながら、防護柵の設置、バッファゾーンの整備等、また広域捕獲の実施など個体数管理も行い適正な対策を図る。</p>	<p>有害鳥獣捕獲員の確保 5 年を目途に今後の有害鳥獣に対する新たな捕獲員の育成と掘り起こしを行う。 モデル地域を定めて、有害鳥獣被害軽減に向けて、重点的に施策を講じる。</p>	○	<p>現在、事業進行中</p>	<p>瓶原地域（登大路地区）広域防除柵設置。 当尾地域（岩船地区）バッファゾーン整備。 木津川市、和東町で 2 ヶ月間にわたり広域捕獲を実施する。</p>

※進捗状況の欄は、既に達成済の場合は◎、年度内に達成する見込の場合は○、年度内に達成できない場合は△を記入すること。